



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

蓮如上人御忌法要勤修

リヤカーにてお運び

ウイルスの感染拡大の制限をうけ、お立ち寄り会所は寺院・教会のみとなりましたが、それでも近所の御門徒の方々が集まられ、行く先々で法座が開かれました。また今年には福井別院から吉崎別院の間だけでしたが、リヤカーにて御影が運ばれ「蓮如上人様のおとくり」の声に導かれ、多くの方々が家の前を通る御影に手を合わせ姿が見られました。その様な光景に出会い、ご下向の随行教導である加藤雅輝師（小松教区遠慶寺）は「ただ念仏申すそのすがたに心をうたれる」と法話で語られました。その後御影は地元消防団の担ぐ御輿にて、入堂し十日間の御忌法要が始まりました。

お念仏に見送られ
 コロナ禍により、お齋や宿泊の提供は出来ませんでした。が、それでも期間中は常に40人前後の方々が熱心に聞法されました。最終日、御影は御輿から供奉人や一般参加者が引くりヤカーに移され、宰領挨拶の後、早朝にもかかわらず集まれた多くの方々のお念仏に見送られ、御影道中一同は宿泊会所である福井別院に向かいました。

合掌



御下向供奉人



御上洛供奉人